



平成21年2月10日

各位

会社名 株式会社 創健社
代表者名 代表取締役社長 中村 靖
(JASDAQ・コード7413)
取締役管理本部長
問合せ先 兼 経理部長 本田 次男
(TEL. 045-491-1441)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 6,851 | 21 | 27 | 18 |
| 今回修正予想(B) | 6,330 | 169 | 179 | 188 |
| 増減額(B-A) | 521 | 148 | 152 | 170 |
| 増減率(%) | 7.6% | - | - | - |

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 6,562 | 8 | 16 | 24 |
| 今回修正予想(B) | 6,060 | 128 | 123 | 109 |
| 増減額(B-A) | 502 | 136 | 139 | 133 |
| 増減率(%) | 7.7% | - | - | - |

修正の理由

(連結)

当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)における当社グループを取り巻く食品業界は、消費財の値上げに加え、世界的な金融不安に端を発する景気悪化と消費減退が急速に進み、コスト増、売上難という大変厳しい経営環境となりました。このような急激な変化のもと、売上高につきましては、特に親会社である当社の売上高は秋口から落ち込み、販売価格上昇による販売数の減少、特に節約等による消費の停滞が予想を上回り、第3四半期会計期間で平成20年11月に公表した金額よりも2億58百万円減少となりました。平成21年1月～3月の当第4四半期連結会計期間についても、第3四半期会計期間

の状況が継続し、平成20年11月に公表した金額よりも約2億44百万円下回る見込となりました。その結果売上高は、63億30百万円となる見込です。

また、平成20年11月に物流センターの移転に伴う初期投資費用としてシステム切り替え費用、機器・備品購入等による管理費大幅増となり費用が高んだため、営業損失は1億69百万円、経常損失は1億79百万円、当期純損失1億88百万円を見込んでおります。

(個別)

個別につきましても、上記理由により売上高は60億60百万円、営業損失は1億28百万円、経常損失は1億23百万円、当期純損失は1億9百万円を見込んでおります。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上